

理事会

日時：令和3年7月12日月曜日 19時より ZOOMによるWEB会議にて開催

(出席) 齋藤、松岡、島津、丸本、吉波、藤井、森、渡邊、大平、能登、安本、桐山、丁子、小倉

(欠席) 橋爪

〈報告事項〉

1. 県士会関連事業

1) 東海北陸学会

- ・演題登録期間を8月いっぱいまで延長。
5名以上の施設に演題登録を理事より行う。
発達、精神の演題が少ないので参加を促す。
他県士会長へも再依頼
- ・協会枠について、新体制後より調整中。
- ・その他、これまでの経過報告。

2) 教育部・臨床実習指導者講習会

- ・臨床実習指導者講習会 6月26日、27日。44名参加。
- ・7月10日 OT協会意見交換会(能登理事、齋藤出席)
内容の変更、伝えてほしいことの内容確認、報告書の書き方の説明。MTDLPもさらに丁寧に説明
14000人以上受講済みであるが、協会としては20000人を目標。

3) 地域アドバイザー委員会

- 多職種を含めた勉強会を実施し、OTの啓蒙もしていく。予防事業で何ができるかを伝えていく。
行政とのパイプが弱いこともあり、市場がどのくらいかを把握できていない。
リハ専門職協議会との連携も取っていく。
- ・8月24日 高岡地区で多職種を交えた研修会開催。
 - ・6月23日 OT協会地域包括ケアシステム推進委員会(赤尾氏、大平理事出席)。報告書。

4) 普及指導部

- ・高校生体験会2回(南砺市民病院、県リハ)WEBにて開催。準備状況について。
18日は11名参加予定。 25日は8名。
高校生のZOOM経験者8名のため、それぞれの日のトラブル対応担当、丁子先生、渡邊先生。

5) 老人部会

- ・7月18日の研修会について。講師からの参加者へ研究調査(アンケート回答)依頼。

6) リハビリテーション協議会

- ・研修会の担当に、役職者以外を推薦。佐賀氏を推薦。

2. 協会関連事業

1) 47委員会

- ・6月12日。齋藤出席。
- ・協会員=士会員、コロナ禍の取り組みについての情報交換

2) 令和3年度訪問リハ、地域リーダー研修会

- ・桐山氏より今後の富山県での活動について

訪問地域財団に富山県のアクションプランの報告をする必要があり、リハ専門職協議会を中心に進めていけばどうか。

訪問リハ研究会の ST 亀谷さん中心で運営している。

LIFE（科学的な介護ができているかを把握するもの）で報告していく。

訪問リハ、通所リハなどで入力中で県内でどのくらいの施設が利用しているかを把握することから始める。

介護保険サービスがサービス対象で利用するにあたり、老健、通所リハ、デイで3月末まで厚労省へ登録申請している。これにより療養費の加算あり。

3) 倫理問題に関する調査

・齋藤、島津事務局長、大野氏にて取りまとめ、提出済。

4) 国際交流動向調査

・渡辺氏に回答依頼

3. その他

1) 富山県循環器病対策推進協議会

・作業療法士会より齋藤出席。承諾書提出済。

国より都道府県への依頼事項で8月3日開催予定。

2) 居宅・包括支援センター協議会

・9月30日研修会にて齋藤講師予定。配布物あれば、事前に齋藤まで。

3) 厚労省より実習施設への周知事項について

・メーリングにて配信済

内容はPCR検査、助成金について

4) 広報部より

・地域活動報告はPDFで報告書作成しホームページで報告

・県士会ニュース9月号の巻頭言は学会の案内とする

5) 選挙活動

県士会とは別として考える、選挙はOT連盟で対応をする。

《検討事項》

1. 協会研修会・会議、県士会会議に関する日当について

・訪問リハ会議について2名出席。別予算での活動のため、日当などの予算確保なし。

総務部で支払い、次年度以降は予算を組む。

2. 名誉会員の取り扱いについて

理事会で承認、本人承諾。

正会員ではないので、議決権や理事への立候補ができなくなる。

学会の扱いは正会員と同じ扱い。